

内山紙を使ったステーションナリー

雪深い奥信濃で作られ、伝統的工芸品指定の最高級障子紙としても知られる和紙「内山紙」を使ったステーションナリーを募集します。楮(コウゾ)のみを原料としてつくられる強靱で通気性、通光性、保温性に優れた、内山紙の特徴を活かした作品をご提案ください。ハガキ・便せん・封筒といった定番アイテムはもちろん、現代の生活にマッチする新しいステーションナリーのアイデアを待っています。

うちやまがみ

内山紙

内山紙は楮(コウゾ)のみを原料として、洋紙パルプを混入していません。また製造工程でコウゾの繊維を雪にさらすことによる漂白効果で得られた自然な白さは丈夫で日焼けしにくく長持ちします。

課題提供者

内山紙協同組合
(有)阿部製紙 阿部 拓也



プロフィール

1997年 (有)阿部製紙にて紙漉きを始める。

2010年 内山紙の伝統工芸士に認定される。

内山紙協同組合

<http://www.uchiyama-gami.jp>

問1 地域の魅力は何ですか？

山や森に囲まれ、自然豊か。

四季がはっきりしていて、それぞれの季節も楽しむことができます。

問2 応募作品に望むものはなんですか？

内山紙は障子紙を主に今まで受け継がれてきました。

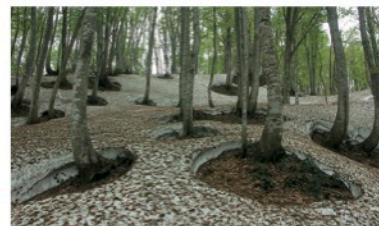
生活様式も変わり、障子紙の需要が減っていく中で若い世代にも受け入れてもらえ、日常使ってもらえるような新しいものを望みます。

問3 希望価格帯はありますか？

気軽に購入して使えるような価格が良いと思います。



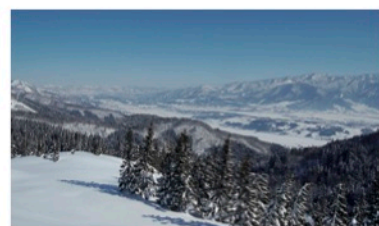
菜の花と飯山線（信濃平駅）



ブナの根開け（斑尾高原）



手すき和紙体験



冬の飯山盆地